

地域計画

策定年月日	令和7年3月13日
更新年月日	令和8年9月1日
目標年度	令和16年度
市町村名 (市町村コード)	焼津市 (22212)
地域名 (地域内農業集落名)	相川地区 (上新田1,上新田2, 上新田3,下江留1,下江留2,下江留3,下江留4,西島,相川1,相川2,相川3, 相川4,上泉1,上泉2,上泉3)

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積(農業上の利用が行われる農用地等の区域)	297.8 ha
① 農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積	211.8 ha
② 田の面積	181.4 ha
③ 畑の面積(果樹、茶等を含む)	30.4 ha
④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	52.0 ha
⑤ 区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	80.3 ha
(参考)区域内における70才以上の農業者の農地面積の合計	44.5 ha
うち後継者不在の農業者の農地面積の合計	9.8 ha
(備考)	

(2) 地域農業の現状及び課題

- ・当地区は圃場整備により、農地の区画整理や用排水路、農道等の整備が行われてきた。砂利層が浅いところにあるため保水力に課題があったが、大井川用水に隣接する地区であることなどから、水稻の早期栽培を行うことが可能で、現在でも自給的農家を主体とする水稻栽培がこの地区の基幹作物となっている。しかし、農家の高齢化とともに経営規模が縮小してしまっている。離農農家が出てくることが考えられ、後継者が確保されない限りは農地の荒廃化などの維持管理に支障が出てくると考えられる。
- ・当地区は、志太梨の産地を形成している。志太梨は、消費者からの需要は高く、そのほとんどが自家販売や注文販売などで流通されることから、ブランド力は強いものがある。しかし、樹齢が高くなってきていることや後継者不足が問題となってきた。
- ・当地区では大井川焼津藤枝スマートＩＣや志太中央幹線のインフラ整備が進められ、人・モノの交流が進んでいくことが予想される。こうした流れを、新たな農業のビジネスチャンスと捉え、地区の中心となる経営体や、新規就農者などによって地区農業の活性化を図ることが期待される。
- ・大井川用水の下流にあるため、用水の使用について今後は地域をこえた連携の検討が必要となる。

(3) 地域における農業の将来の在り方(作物の生産や栽培方法については、必須記載事項)

- ・基幹作物である水稻の栽培を継続していくため、農作業の省力化に向けて農業機械を維持していくための支援や農業施設などの維持管理への支援を進めていく。
- ・ブランド力のある志太梨については、付加価値を更に高めていく取組みをおこない、販路を拡大させ、収益性の高い営農としていくことで就農者の確保につなげていく。
- ・更に、生産者と消費者の交流や新たな加工を取り入れた6次産業化、スマート農業を取り入れた営農についても積極的に取り組んでいく。

2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

(1)農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針					
・ 水稻を基幹作物として小麦・大豆等を組み合わせた土地利用型作物による経営や、施設野菜、施設花卉、梨などを組み合わせた複合経営、水田の裏作としてレタス露地栽培等について、今後も、これらの作物振興のために優良農地の保全・確保を図るとともに、認定農業者等への農地の集積・集約化を積極的に促進し有効利用を図っていく。 ・ 生産者の顔が見える地産地消の展開により、市内の直売所やファーマーズマーケットが地域住民に浸透して新たな販路が確保されている。今後は、生産地と消費地が近接している強みを活かし、小規模販売農家を中心とした露地野菜の輪作による少量多品目生産を振興し、農地の有効利用を推進する。					
(2)担い手(効率的かつ安定的な経営を営む者)に対する農用地の集積に関する目標					
現状の集積率	30.1	%	将来の目標とする集積率	60	%
(3)農用地の集団化(集約化)に関する目標					
・ 集落内の耕作状況について、定期的に情報共有していく機会を設けて、効率的かつ効果的な耕作ができるように集団化(集約化)を推進する。 ・ 認定農業者等に対する農地の集積・集約化を加速させる。					

3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとるべき必要な措置

(1)農用地の集積、集団化の取組	
・ 農地が面的にまとまりのある形で権利設定されるよう、農地中間管理事業等を推進する。また、農用地利用現況図等の作成及び提供を行うことなどで、担い手間における話し合いを促し、農地の交換等を含めた農地の集団化を促進する。	
(2)農地中間管理機構の活用方法	
・ 新たに貸出しを希望する農地については農地中間管理機構を活用して利用権設定をしていくことで、再配分による農地交換などをしやすくしていく。規模縮小や離農を検討している農地情報、現在の担い手や新規就農希望者の情報を中間管理機構に集め、耕作できない農地となる前に中間管理機構を通じて活用方針を決めていく。	
(3)基盤整備事業への取組	
・ 担い手への集積集約化が進むエリアについては補助金等を活用し、施設改修や農地の大区画化などの取組ができるよう検討していく。	
(4)多様な経営体の確保・育成の取組	
・ 狭小・不整形など、条件の悪い農地についても耕作が継続されるように半農半Xや定年退職後の就農者の育成に取り組む。	
(5)農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組	
・ 民間事業者が実施する農業支援サービス(畦畔等の草刈りサービス、ドローンによる防除サービス等)を活用して、農業者の負担の分散化を図る。	

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください)

☐ ①鳥獣被害防止対策	☒ ②有機・減農薬・減肥料	☒ ③スマート農業	☐ ④畑地化・輸出等	☐ ⑤果樹等
☐ ⑥燃料・資源作物等	☐ ⑦保全・管理等	☐ ⑧農業用施設	☐ ⑨耕畜連携等	☐ ⑩その他

【選択した上記の取組内容】	
・ 自然環境の保全に資する農業生産方式の導入に取り組む ・ 集約化したほ場に対し、作業の効率化を目指しスマート農機の導入を促進する	

4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度:令和16年度)				
		経営作目等	経営面積	作業受託 面積	経営作目等	経営面積	作業受託 面積	目標地図 上の表示	備考
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
	別紙のとおり		ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
計	66経営体		80.3 ha	ha		80.3 ha	ha		

5 農業支援サービス事業者一覧(任意記載事項)

番号	事業体名 (氏名・名称)	作業内容	対象品目
	(有)めぐみ自動車販売	草刈り・防除	水稻等
	(株)アースグリーンファーム	草刈り 等	

6 目標地図(別添のとおり)

7 基盤法第22条の3(地域計画に係る提案の特例)を活用する場合には、以下を記載してください。

農用地所有者等数(人)		うち計画同意者数(人・%)	
-------------	--	---------------	--

参考様式5-2

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度: 令和16年度)				
		経営作物等	経営面積	作業受託面積	経営作物等	経営面積	作業受託面積	目標地図上の表示	備考
1	利用者	稲作	0.94 ha	ha	稲作	0.94 ha	ha	1	
2	認農	露地野菜	0.16 ha	ha	露地野菜	0.16 ha	ha	2	
3	認農	稲作	0.28 ha	ha	稲作	0.28 ha	ha	3	
4	利用者	花卉	0.12 ha	ha	花卉	0.12 ha	ha	4	
5	認農	稲作	0.36 ha	ha	稲作	0.36 ha	ha	5	
6	利用者	稲作	0.21 ha	ha	稲作	0.21 ha	ha	6	
7	利用者	露地野菜	0.17 ha	ha	露地野菜	0.17 ha	ha	7	
8	認農	稲作	4.67 ha	ha	稲作	4.67 ha	ha	8	
9	認農	複合経営	5.12 ha	ha	複合経営	5.12 ha	ha	9	
10	認農	飼料用作物	0.37 ha	ha	飼料用作物	0.37 ha	ha	10	
11	利用者	稲作	0.28 ha	ha	稲作	0.28 ha	ha	11	
12	利用者	稲作	0.00 ha	ha	稲作	0.00 ha	ha	12	
13	利用者	稲作	0.31 ha	ha	稲作	0.31 ha	ha	13	
14	利用者	稲作	0.29 ha	ha	稲作	0.29 ha	ha	14	
15	利用者	稲作	0.47 ha	ha	稲作	0.47 ha	ha	15	
16	認農	稲作	11.19 ha	ha	稲作	11.19 ha	ha	16	
17	認農	稲作	1.35 ha	ha	稲作	1.35 ha	ha	17	
18	利用者	複合経営	0.23 ha	ha	複合経営	0.23 ha	ha	18	
19	認農	花卉	0.48 ha	ha	花卉	0.48 ha	ha	19	
20	認農	複合経営	2.94 ha	ha	複合経営	2.94 ha	ha	20	
21	認農	複合経営	1.93 ha	ha	複合経営	1.93 ha	ha	21	
22	利用者	稲作	0.83 ha	ha	稲作	0.83 ha	ha	22	
23	認農	複合経営	0.74 ha	ha	複合経営	0.74 ha	ha	23	
24	利用者	稲作	0.67 ha	ha	稲作	0.67 ha	ha	24	
25	利用者	稲作	2.39 ha	ha	稲作	2.39 ha	ha	25	
26	利用者	稲作	3.12 ha	ha	稲作	3.12 ha	ha	26	
27	認農	稲作	1.11 ha	ha	稲作	1.11 ha	ha	27	
28	認農	複合経営	0.96 ha	ha	複合経営	0.96 ha	ha	28	
29	利用者	稲作	0.84 ha	ha	稲作	0.84 ha	ha	29	
30	認農	複合経営	3.40 ha	ha	複合経営	3.40 ha	ha	30	
31	利用者	稲作	1.97 ha	ha	稲作	1.97 ha	ha	31	
32	認農	稲作	0.28 ha	ha	稲作	0.28 ha	ha	32	
33	認農	複合経営	0.32 ha	ha	複合経営	0.32 ha	ha	33	
34	認農	稲作	5.82 ha	ha	稲作	5.82 ha	ha	34	
35	認農	露地野菜	0.00 ha	ha	露地野菜	0.00 ha	ha	35	
36	利用者	果樹	0.18 ha	ha	果樹	0.18 ha	ha	36	
37	認農	露地野菜	1.46 ha	ha	露地野菜	1.46 ha	ha	37	
38	認農	稲作	0.53 ha	ha	稲作	0.53 ha	ha	38	
39	認農	複合経営	5.54 ha	ha	複合経営	5.54 ha	ha	39	
40	認農	露地野菜	6.53 ha	ha	露地野菜	6.53 ha	ha	40	
41	認農	露地野菜	0.40 ha	ha	露地野菜	0.40 ha	ha	41	
42	認農	露地野菜	0.17 ha	ha	露地野菜	0.17 ha	ha	42	
43	認農	施設野菜	0.71 ha	ha	施設野菜	0.71 ha	ha	43	
44	利用者	露地野菜	0.88 ha	ha	露地野菜	0.88 ha	ha	44	
45	認農	施設野菜	0.28 ha	ha	施設野菜	0.28 ha	ha	45	
46	認農	露地野菜	2.02 ha	ha	露地野菜	2.02 ha	ha	46	
47	利用者	茶	0.52 ha	ha	茶	0.52 ha	ha	47	
48	利用者	茶	0.59 ha	ha	茶	0.59 ha	ha	48	
49	利用者	複合経営	0.47 ha	ha	複合経営	0.47 ha	ha	49	
50	利用者	稲作	0.21 ha	ha	稲作	0.21 ha	ha	50	
51	認就	施設野菜	0.31 ha	ha	施設野菜	0.31 ha	ha	51	
52	認農	露地野菜	1.16 ha	ha	露地野菜	1.16 ha	ha	52	
53	利用者	茶	0.34 ha	ha	茶	0.34 ha	ha	53	
54	認農	稲作	0.15 ha	ha	稲作	0.15 ha	ha	54	
55	利用者	稲作	0.51 ha	ha	稲作	0.51 ha	ha	55	
56	認農	果樹	0.24 ha	ha	果樹	0.24 ha	ha	56	
57	認就	複合経営	2.16 ha	ha	複合経営	2.16 ha	ha	57	
58	利用者	稲作	0.15 ha	ha	稲作	0.15 ha	ha	58	
59	認農	露地野菜	0.20 ha	ha	露地野菜	0.20 ha	ha	59	
60	利用者	施設野菜	0.31 ha	ha	施設野菜	0.31 ha	ha	60	
61	認農	複合経営	ha	ha	複合経営	ha	ha	61	今後調整
62	認農	複合経営	ha	ha	複合経営	ha	ha	62	今後調整
63	認農	茶	ha	ha	茶	ha	ha	63	今後調整
64	認農	露地野菜	ha	ha	露地野菜	ha	ha	64	今後調整
65	認農	露地野菜	ha	ha	露地野菜	ha	ha	65	今後調整
66	利用者	施設野菜	ha	ha	施設野菜	ha	ha	66	今後調整